

介護福祉士実務者研修科



介護福祉系資格の流れ



受講説明会のご案内

第1回説明会：平成29年10月13日（金）10:30～11:30

第2回説明会：平成29年10月18日（水）10:30～11:30

【場所】EDC医療福祉学院 仙台市青葉区中央3-4-12-8F

* 受講説明会・訓練詳細等の問合せは下記の実施機関までご連絡ください。



取得資格

介護福祉士実務者研修

同行援護従業者養成研修一般課程

強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）課程

1. 訓練について

訓練期間	平成29年11月29日（水）～ 平成30年5月28日（月）	訓練会場 （地図裏面）	EDC医療福祉学院 仙台市青葉区中央3-4-12-8F	
訓練開始・終了時刻	9:50～16:30	訓練休講日	土・日・祝日・年末年始	
訓練対象者の条件	特になし			
受講料	無料	自己負担額	教科書代	15,000円（税込）
			その他	1,000円（腸内細菌検査代）
			備考	企業実習（計2日間）交通費実費、授業を欠席した場合で資格取得のための補習講義を希望する場合は1時間あたり1,000円必要

2. 募集について

募集期間	平成29年9月11日（月）～平成29年11月6日（月）	定員	26名
------	-----------------------------	----	-----

3. 応募方法について

受講をご希望の方は、原則として住所地を管轄するハローワークの窓口で職業相談を受け、ハローワークの確認を受けた「受講申込書」を受付期間内に郵送又は持参により当施設まで提出してください。
※応募状況が低調な場合は、訓練の実施を中止することがあります。

4. 選考について

選考日時	平成29年11月9日（木） 10:00～	選考会場 （地図裏面）	訓練会場と同じ 仙台市青葉区中央3-4-12-8F
選考方法	面接	持ち物	筆記用具
選考結果通知日	平成29年11月14日（火）	選考結果通知方法	郵送

5. 職業訓練受講給付金について

公共職業安定所の指示により、求職者支援訓練を受講する場合に、一定の要件を満たせば訓練中の生活支援として、職業訓練受講手当・通所手当が支給されます。

実施機関名 〒980-0021 仙台市青葉区中央3-4-12-8F TEL: 022-716-2125 FAX: 022-341-6135

株式会社エデュケイト・ジャパン(EDC医療福祉学院) お問い合わせ：半沢・金子

6. 訓練カリキュラムについて

科目		科目の内容	訓練時間	
学 科	就職支援	職務経歴書・履歴書の作成指導、面接指導	18時間	
	安全衛生	心身の健康管理、整理整頓の原則	3時間	
	人間の尊厳と自立	人間の尊厳と自立	6時間	
	社会の理解Ⅰ	介護保険制度	6時間	
	社会の理解Ⅱ	生活と福祉、社会保障制度、障害者自立支援制度、介護実践に関する諸制度	36時間	
	介護の基本Ⅰ	介護福祉士制度、尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方と展開、介護福祉士の倫理	12時間	
	介護の基本Ⅱ	介護を必要とする人の生活の理解と支援、介護実践における連携、介護における安全の確保とリスクマネジメント、介護福祉士の安全	24時間	
	コミュニケーション技術	介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	15時間	
	発達と老化の理解Ⅰ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12時間	
	発達と老化の理解Ⅱ	人間の成長・発達、老年期の発達・成熟と心理、高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24時間	
	認知症の理解Ⅰ	認知症ケアの理念、認知症による生活障害、心理・行動の特徴、認知症の人とのかかわり・支援の基本	12時間	
	認知症の理解Ⅱ	医学的側面から見た認知症の理解、認知症の人や家族への支援の実際	24時間	
	障害の理解Ⅰ	障害者福祉の理念、障害による生活障害、心理・行動の特徴、障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12時間	
	障害の理解Ⅱ	老化に伴う心の変化と日常生活への影響、老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	24時間	
	こころとからだのしくみⅠ	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔)	24時間	
	こころとからだのしくみⅡ	人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点	54時間	
	介護過程Ⅰ	介護過程の基礎的知識、介護過程の展開、介護過程とチームアプローチ	24時間	
	介護過程Ⅱ	介護過程の展開の実際(介護の専門性を活かした介護過程)	18時間	
	実 技	医療的ケア	医療的ケア実施の基礎、喀痰吸引(基礎的知識・実施手順)、経管栄養(基礎的知識・実施手順)	60時間
		同行援護従業者の知識	視覚障害者(児)福祉サービス、同行援護の制度と従業者の業務、障害者(児)の心理、障害・疾病の理解、同行援護の基礎知識、情報支援と情報提供、代筆、代読の基礎知識	12時間
強度行動障害支援者の知識		強度行動障害がある者の基本的理解、強度行動障害に関する制度及び支援技術の基礎知識	8時間	
実習事後ガイダンス		実習後の気づき、反省点、自己の介護観について	6時間	
コミュニケーション技術(演習)		介護におけるコミュニケーション技術、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション	9時間	
こころとからだのしくみⅡ(演習)		人間の心理、人体の構造と機能、身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	18時間	
生活支援技術Ⅰ(演習)		生活支援とICF、ボディメカニクスの活用、介護技術の基本(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、家事援助等)、環境整備、福祉用具の活用等の視点	24時間	
生活支援技術Ⅱ(演習)		利用者の心身に合わせた介護、福祉用具等の活用、環境整備(移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔、睡眠、終末期の介護)	54時間	
介護過程Ⅱ(演習)		介護過程の実際の展開	12時間	
介護過程Ⅲ(演習)		介護過程の展開の実際、介護技術の評価	54時間	
職 業 人 講 話	医療的ケア(演習)	喀痰吸引演習(口腔、鼻腔、気管カニューレ内部)、経管栄養演習(胃ろう、腸ろう、経鼻経管栄養)、救急蘇生法演習 ※シミュレータ装置による演習となります。	18時間	
	実習事前演習(演習)	実習の目的・経験目標について、実習中の態度・心構え、事故防止、介護業務の留意点、実習記録の書き方	6時間	
	同行援護従業者の技術(演習)	視覚障害者への移動支援に係る基本技能(基本姿勢、歩行、曲がる、狭い場所の通過、ドアの通過、椅子への誘導、段差・階段歩行)、応用技能(環境に応じた歩行、種々の階段及びドア、エレベーター・エスカレーター利用、場面別技能(食事、トイレ、買い物、窓口やカウンター等))	12時間	
	強度行動障害支援者の技術(演習)	基本的な情報収集と記録等の共有に関する実習、行動障害がある者の固有のコミュニケーションの理解に関する実習、行動障害の背景にある特性の理解に関する実習	10時間	
	職業人講話	「職業について理解を深め、職業人として自分をイメージする」講演者未定	3時間	
企業実習	□実施しない ■実施する	12時間		
訓練時間合計			666時間	

7. 訓練目標について

介護職に必要とされる、対人理解や対人援助の基本的な視点と理念や知識、技術を学び、即戦力として就業出来ることを目標とする

8. 訓練実施施設等までの交通手段

		訓練会場及び選考会場	E D C医療福祉学院 仙台市青葉区中央3-4-12-8F TEL: 022-716-2125
		駐車場	駐車場はありません
最寄駅		JR仙台駅・地下鉄仙台駅徒歩5分	